

町税の収納率を上げるには

町 公平性を保つため徴収強化に取り組む

問 町税の滞納整理の実施状況は。

財務課長 まず納期後20日以内に、未納の方には、その都度督促状を出し、さらに催告書の送付を行っている。昨年は4回休日納付相談を行った。

また、年2回、収納向上対策本部による徴収を行い、さらに差し押さえ、公売などの取り組みを行っている。

問 町税の収納率向上の取り組みはどう考えるか。

財務課長 税を納めている方との公平性を保つために

も、今後、納税相談による納税の喚起、県税事務所との協働徴収、差し押さえなど、さらなる強化に努めていきたいと考えている。

同様に現年度課税分の収納率の向上対策も必要不可欠であると考えている。

医師の新たな確保については

町 探す方向で進めていく

問 芦野の診療所は、地元での強い要望により昭和35年に開所以来、地域の健康を見守ってきたが4月からは芦野に医者がいなくなる。

芦野診療所閉所後の新たな医師確保について、町の考えは。

町長 ご高齢のため3月31日付で診療所を閉める申し出があった。

後任の医師の件は地元医師、県などとも相談をして探す方向で進めていきたく考えている。

問 今後の診療所の建物の維持について、考えは。

保健福祉課長 後任の医師、又は町で利用が決まるまでは、住み慣れた芦野で生活したい、住み続けたいという意向があるので、引き続き住んでいただきたいと考える。

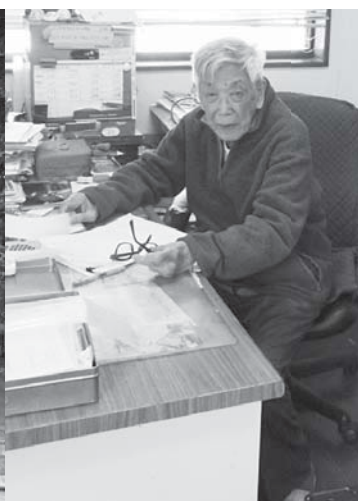
建物については、現状のまま維持管理を行いたいと考えている。



地方税強化月間



3月末で閉所した芦野診療所



94歳になる元気な張簡先生